



NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会 会報誌

ラリグラス通信

2015年度号 緊急号

2015年8月8日発行



バクタブルにて救援物資を手渡す

ご挨拶



平素はラリグラスの会に温かいご支援を賜りましてありがとうございます。
さて、去る4月25日にネパールでM7.9の大規模地震が発生し、現地では多くの方々が犠牲になられました。先ずは、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。
また、この度の地震に関し、当会に対しましても多くの方々からお見舞いや励ましのお言葉を頂戴しております。皆様の温かいお心遣いに、この場を借りて感謝申し上げます。

地震発生直後は、各種報道やSNS等で現地の様子が伝わるにつれ、その被害の大きさに大変心を痛めました。当会としても情報収集に努めてはおりましたが、現地との連絡が思うに任せず、少ない情報の中で、ネパール野球関係者の生存は確認できたものの、家を失った者もあり、深刻な状況でした。

当会では、4月26日より現地指導員として重田大輝をネパールに派遣する予定でおりました。この度の地震の状況に鑑み、派遣を当面見合わせておりましたが、改めて8月1日に派遣することになりました。また、その他の計画につきましても、全て中止や変更を余儀なくされております。暫くは当会の活動に混乱した状況が続き、皆様にご迷惑をお掛けすることがあるかとも存じますが、事情をご理解いただければ幸いです。

当会といたしましては、ネパールの復興を全力で支援して参ります。そのための義援金受付も始めさせていただきました。自分たちに何ができるのか、まだ分からぬ部分もございますが、当会の活動理念である「協働」の下、ネパールの復興のために邁進したいと思います。

そして、その一環といたしまして、本年12月に「ネパール復興支援野球大会」を開催することといたしました。被災地においては、物質的な支援もさることながら精神的な支援も求められており、本大会が子どもたちの笑顔を取り戻すことに繋がればと考えております。本大会の開催に当たりましては、多くの皆様のご支援、ご参加をお待ち申し上げております。

今後とも皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

NPO法人ネパール野球ラリグラスの会 理事長
ネパール野球連盟 名誉総裁

小林 洋平

野球から広がる笑顔の輪

震災現地報告

去る4月25日ネパールでM7.8の大規模地震が発生いたしました。現地では死者が8千人に達するなど、甚大な被害が出ております。この事態を受け、5月8日から小林理事長および鈴木事務局長が急遽ネパールに赴き、現地の状況を調査するとともに、ネパール側から要請された救援物資を届けました。

各地の被災状況

■カトマンズ

建物の倒壊が各所で見られるが、建物によって被害に差がある。テント生活をしている者も多数見受けられる。多くの商店は通常どおりの営業をしている。



カトマンズ

■ポカラ

ポカラの被害は少なく、人々は通常どおりの生活を送っています。

■バクタプル

グラウンド周辺では、全半壊している家が数多く見られ、テント生活をしている者も多いです。野球のプレーヤーの中にも家を失った者がおります。グラウンドは市街地から離れた山の方にあり、救助の手も届きにくいようである。また、農家が多く、収穫した作物が壊れた家に埋もれてしまい、売ることができません。

一方、市街地では、主要な観光拠点であるダルバール広場付近でも多くの建物が全半壊しています。軍隊と思われる人たちが復旧作業に当たっていました。



バクタプル（グラウンド周辺）

■その他

その他の地域でも、特に建物の被害が大きく、40万戸の家屋が倒壊したほか、3,500校を超える学校の校舎が全半壊し、8月8日現在でも休校している学校があり、生活や教育に支障をきたしています。

また、現地では余震が続いており、5月12日にはM7.3の最大余震が発生し、被害が拡大いたしました。



倒壊した学校の教室
(バクタプル・グラウンド周辺)

選手の声

昨年、バクタプルから日本での野球交流プログラムに参加したサグン・キチャジュ君に話を聞きました。



サグン・キチャジュ君

問：地震のときは、どこにいたのか。どう思ったか。

答：野球の練習をしていた。すごく恐かった。

初めての体験。頭を抱えてその場に伏せた。

問：地震があったが、これから事をどう思うか。

答：友達と野球をしていることが心の支えになっている。

もっと野球を練習して、ネパールに野球を広めたい。

日本でプレーできるような選手になりたい。

問：今、何が必要か。

答：食料や飲み物は足りている。地震で家がなくなった。

雨季になるので、屋根付きの家が欲しい。

支援物資の配布

バクタブルのグラウンドにて救援物資を手渡しました。日本からは、ブルーシート、マスク、寝袋、ブランケット、衣類、雨具、懐中電灯を持参いたしました。また、現地では、ネパール野球連盟とも協議の上、米、バケツ、飲料水浄化剤、トタン板を購入いたしました。



総括

建物に関する被害が大きく、ホームレスになっている方々も多くおられました。テントやブルーシートが不足しており、屋根が無い状態で雨ざらしになっている場所も多いです。雨季に入り、感染症等の病気が広がる可能性もあり、状況は深刻です。都市部には救援が届いておりますが、郊外地域の救援は不十分です。外国からの支援も同じ町に重なっており、山間部には全く行き届いておりません。

首都カトマンズやポカラを見る限り、テントや薬以外の物資は現地で揃えることができますが、被災者には買うお金が有りません。農業を営んでいる家庭も多いですが、収穫したものが瓦礫の中に埋まるなど、地震で失業した方々も多くおられます。

ネパールの主な産業の一つが観光ですが、地震の影響で観光客が激減しております。現地の経済を活性化させるという意味でも、現地で物資を揃えることも支援の手段となります。

報道機関等での紹介

2015年4月以降

震災の影響も有り、多くの報道機関で当会の活動が紹介されました。

【テレビ】

4月27日 NHK（関西）「ニュースほっと関西」
5月 8日 NHK（関西）「おはよう関西」
5月20日 NHK（大阪）「ニュースほっと関西」



NHK 「ニュースほっと関西」

【ラジオ】

4月 6日 ニッポン放送「阿部亮のNGO世界一周」

【新聞】

4月 3日	大阪日日新聞	4月 26日	読売新聞	5月 8日	毎日新聞
5月13日	朝日新聞	6月 4日	サンケイスポーツ	6月 8日	産経新聞
6月 9日	毎日新聞	6月 9日	スポーツ報知	7月 8日	朝日新聞

【雑誌】

6月22日 週刊ベースボール「ベースボール・ファースト・リーグ」

【ホームページ】

侍ジャパンの公式サイトのコラム「世界の野球」でネパール野球に関する記事を連載中です。

<http://www.japan-baseball.jp/jp/world/>

講演会・シンポジウム

小林理事長が各地で講演を行っております。特に、ネパールでの大地震発生後は、現地の被災状況や復興への取り組みなどについて紹介させていただいております。

7月に開催されたNPO法人サロン2002主催の公開シンポジウムにおいては、村松邦子氏（Jリーグ理事）、山口拓氏（筑波大学准教授）とともにパネリストを務めました。



トピックス

MLB中国でのコーチ研修



左:ニスカル・ケーシー
右:ローシャン・タパ

6月にネパールから2名のコーチ（ローシャン・タパ、ニスカル・ケーシー）を中国・常州市にあるMLB発展センターに派遣。2週間に渡り、指導者としての研修を行いました。

両名はネパールに帰国後、研修で学んだ事を活かし、バクタブルやパタンで精力的に野球の指導を行っています。

【ローシャン・タパの感想】

「ボールの捕り方、打ち方を始め、多くの知識や技術をより深く学ぶことができた。また、試合を見ながら野手のポジショニングを学んだり、ここへ来るまで知らなかった事も多かった。今回、学んだ事をネパールの子どもたちに伝えて、ネパールの野球発展に貢献したい。」



MLB発展センター

中国での野球人口増加に対応してMLBが開設した野球の訓練施設。

現在は、常州、無錫、南京の3カ所に発展センターがあり、中国各地から集められた若者が訓練を行っている。

現地野球指導員派遣



重田大輝氏

当会では4月26日より現地野球指導員として重田大輝氏を派遣する予定でしたが、ネパールでの大地震発生のため、暫く派遣を見合わせておりました。

ネパールへの赴任は延期となったものの、地震発生後、重田大輝氏は震災復興支援のために各地で精力的に活動してまいりました。その後の現地の状況も考慮し、短期間とはなりますが、改めて8月1日より派遣することといたしました。



ネパール野球交流会 in 東京

近年は日本に住んでいるネパールの方々が増えております。当会では日本に住んでいるネパールの方々にも野球を広め、ネパールでの野球普及に繋げたいと考えております。

その一環として、去る4月14日に東京のネパール人学校「エベレスト・インターナショナル・スクール」で野球交流会を行いました。当日は雨天のため、室内での活動となりましたが、同校の子どもたちに野球を紹介いたしました。同校とはこれからも交流を継続してまいります。



エベレスト・インターナショナル・スクール

東京都杉並区阿佐ヶ谷にある2013年に開校した日本初のネパール人学校です。幼稚園児と小学生、合わせて約100名以上の子どもたちが学んでいます。

公認パートナーの活動

当会の公認パートナーの活動をご紹介いたします。両名の応援を宜しくお願い申し上げます。

■ アブドラ・バラ選手（パキスタン）

プロ野球独立リーグ、ベースボール・ファースト・リーグの前期が終了。アブドラ・バラ投手（06BULLS）は先発1試合を含む9試合に登板する活躍をいたしました。また、アブドラ・バラ選手はパキスタン代表選手の候補でもあります。是非、球場でアブドラ・バラ選手の勇姿をご覧ください。



アブドラ・バラ選手の成績 (8月4日現在)

- ・試合 10
- ・2勝 0敗 0S
- ・防御率 1.50



アブドラ・バラ選手談：

「今の目標はN P Bに入って活躍することです。そして、パキスタン野球やアジア野球に貢献したいと思います。」

■色川冬馬氏がパキスタン代表の監督に就任

前イラン代表監督で当会の会員でもある色川冬馬氏が5月にパキスタン代表チームの監督に就任いたしました。

色川監督は9月16日から9月20日に台湾の台中市で開催される第27回BFAアジア野球選手権でパキスタン代表の指揮を執ります。



色川冬馬監督

第27回BFAアジア野球選手権

【期間】2015年9月16日～20日

【場所】台湾・台中市

【出場国】日本、台湾、韓国、中国、
インドネシア、パキスタン

■ スジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏（スリランカ）



国際審判員のスジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏が、3月に行われた第87回選抜高等学校野球大会で審判員を務めました。また、7月には韓国・光州市で開催された第28回ユニバーシアードで審判員を務めました。

ネパール震災復興支援野球大会

経緯

前述の救援物資の受け渡しが行われたバクタブルのグラウンドでは震災後2日目から子どもたちが野球の練習を再開しており、野球が子どもたちの精神的な支えとなっておりました。ネパールの復興支援においては、物質的な支援もさることながら、それ以外の精神的な支援、子どもたちの笑顔に繋がるような支援も必要です。その観点で、当会が野球の活動を続けて行くことがネパールの支援になると考えており、ネパール側からもそれを求められております。

そこで、その一環として、ネパール野球の主要な活動拠点のうち最も被害が大きかったバクタブル周辺において、本年12月に「ネパール震災復興支援野球大会」を開催することといたしました。また、今回の野球大会の開催は「野球大会開催を目指したネパール震災復興支援事業」として、日本国政府が推進しているスポーツを通した国際貢献事業である「Sport for Tomorrow」（後述）のプログラムとしての事業認定を受けました。

概要

ネパール大地震の復興を支援するため、ネパールのバクタブル周辺で野球大会を行う。

（1）目的

- ・被災者を精神的に支援する。
- ・ネパールに対する長期的な支援を求める切っ掛けとする。
- ・野球で築いたネットワークによる復興支援。



バクタブルのグラウンド

（2）実施時期・場所

- ・2015年12月16日（水）～12月23日（水）
- ・バクタブルのグラウンドほか

（3）主な内容

具体的な内容は今後決定するが、多くの団体や野球関係者、学生なども巻き込んだ取り組みとし、協力者も広く募集する。

- ・4から8チームの参加による野球大会、野球教室など
- ・バクタブル、ポカラ、カトマンズからチームが参加

一人でも多くの皆さんの
参加をお待ちしています。



イッソ・タバ氏
(ネパール代表主将)

参加者、協力者、スポンサー募集中

当会では本大会への参加者、協力者、スポンサーを募集しております。尚、参加費は15万円から20万円程度を見込んでおります。また、郵便振替にて義援金を受け付けております。皆様の温かいご支援をお待ち申し上げております。

（振込先） 口座番号 00950-8-165088 NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会
お振込の際には、通信欄に「ネパール地震義援金」である旨をご明記ください。

【参加申し込み・お問合せ】 NPO法人ネパール野球ラリグラスの会 info@nepalbaseball.net

Sport for Tomorrow



本年4月、当会の「Sport for Tomorrow コンソーシアム」への入会が承認されました。「Sport for Tomorrow」は、2014年から東京オリンピック・パラリンピックを開催する2020年までの7年間で、開発途上国をはじめとする100カ国以上・1000万人以上を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業です。世界のより良い未来を目指し、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取組みです。

編集・発行：NPO法人 ネパール野球ラリグラスの会

〒536-0017 大阪市城東区新喜多東1-10-22-705

<http://www.nepalbaseball.net/> E-mail: info@nepalbaseball.net